

おすすめの  
ケア用品

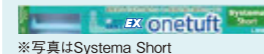
DENT.EX  
歯間ブラシ



- 折れにくい超合金SAワイヤーを採用
- 挿入しやすい110°アングルネック
- 歯間サイズで選べる豊富なラインナップ

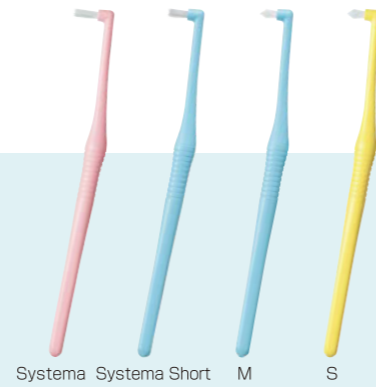
※写真は4S

DENT.EX onetuft



※写真はSystema Short

- 磨き残しがちな部位の部分磨き用歯ブラシ  
(歯間部・歯頸部・最後臼歯遠心部・歯周ポケット・矯正装置周辺など)



使用  
方法

歯間ブラシやワンタフトブラシなどの部分清掃用具と一緒に使用し、  
歯間部・歯頸部や歯周ポケットを集中的にブラッシングしてください。

〈ご注意〉

本品には研磨剤や発泡剤が配合されていません。歯間部・歯頸部や歯周ポケットなどの特定部位の周辺をブラッシング(プラークコントロール)する場合にお使い  
いただくと効果的です。

**1**

ブラシに本品を適量(垂れない程度の量)のせます。  
●容器の先端が細いノズルになっており、小さなブラシにもジェルをのせやすくなっています。  
●多くの部位を続けてケアする場合は、部位ごとにブラシを水で洗浄し、その都度ジェルをのせてください。  
●あらかじめ適量を小さなスプーンなどにとり、ブラシですくい取るようにしてつける方法も便利です。

**2**

歯間ブラシの場合

①無理のないようにブラシを歯間に挿入します。  
②歯頸部にブラシの毛先が当たるよう、ブラシの方向と角度に注意しながら、細かく前後に動かします。

ワンタフトブラシや歯間ブラシの場合

①毛先をケアしたい部位(歯頸部や歯周ポケット)歯周に当てます。  
②軽い力でブラシを小刻みに往復運動させ、やさしく磨いてください。

**3** ブラッシング後は、水で軽く口をすすいでください。

※ふつうの歯ブラシや電動ブラシでもご使用になれます。

■パッケージ



医薬部外品 販売名: システマジェルFa

■成分

- 湿潤剤 …… ソルビット液、グリセリン、プロピレングリコール  
 溶剤 …… エタノール  
 可溶化剤 …… POE硬化ヒマシ油  
 粘度調整剤 …… アルギン酸Na、キサンタンガム  
 着香剤 …… 香料(メディカルペパーミントタイプ)  
 薬用成分 …… モノフルオロリン酸ナトリウム、塩化セチルピリジニウム、  
 イソプロピルメチルフェノール、グリチルレチン酸  
 pH調整剤 …… リン酸1水素Na、リン酸2水素Na  
 着色剤 …… カラメル、黄4

■仕様

商品名	容量/個	入数	メーカー希望 患者様向け価格/個
Systema 薬用歯間ジェル	20ml	10個	500円

※価格には消費税は含まれておりません。

セルフケア提案型歯科医院への第一歩に  
5分で測定できる唾液検査  
**SMT** Salivary Multi Test  
多項目・短時間唾液検査システム

①採取 ▶ ②測定 ▶ ③結果

簡単3ステップ、測定時間はわずか5分。  
「歯の健康」「歯ぐきの健康」「口腔清潔度」に関する  
6項目をチャートで表示。口腔内の状況が一目で  
わかるため、患者様の理解もスムーズです。  
詳しくは <https://lionpro.lionshop.jp/>



歯科医院様向資料

LION  
歯科用

Systema

システマ

薬用 歯間ジェル  
+フッ素

リスク部位のポイントケア



歯間ブラシで

ワンタフトブラシで

バイオフィルムに浸透・殺菌するIPMP配合

イソプロピルメチルフェノール

# 薬用成分が長くとどまり、じっくり歯周病予防。

システム薬用歯間ジェルは2種類の殺菌成分と抗炎症成分を配合。  
 歯間ブラシ、ワンタフトブラシなどと一緒を使うことで、  
 歯周病の予防やメンテナンスに効果を発揮します。  
 また、フッ化物を配合し、エナメル質と象牙質のう蝕を予防します。



詳しい製品情報はコチラ



## ■歯周病・う蝕を予防する4つの薬用成分

殺菌成分	IPMP (イソプロピルメチルフェノール)	バイオフィーム内部まで浸透・殺菌	〈主な効能〉 *歯周病予防
	CPC (塩化セチルピリジニウム)	浮遊性細菌、バイオフィーム表面を殺菌	
抗炎症成分	グリチルレチン酸	歯周病による歯肉の炎症を抑制	*歯周病は、歯肉炎・歯周炎の総称です。
	フッ化物	MFP (モノフルオロリン酸ナトリウム)	
			う蝕予防

### 特長 1 2つの殺菌成分がバイオフィームを殺菌して歯肉炎を予防

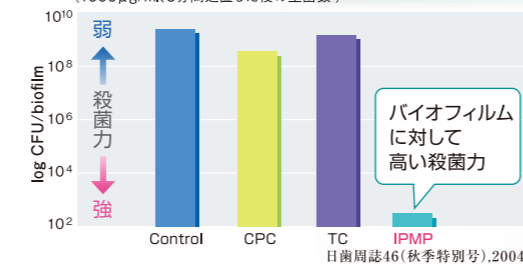
IPMPがバイオフィームに浸透して内部まで殺菌。殺菌力の高いCPCが口腔内の浮遊性細菌、バイオフィーム表面の細菌を殺菌します。

#### ■バイオフィーム浸透性の比較

共焦点レーザー顕微鏡による、殺菌剤処理後のバイオフィームモデル像  
 ※生菌、死菌を選択的に染色できる蛍光色素を用いてバイオフィームを染色。  
 緑色が生菌、赤色が死菌を示します。



#### ■バイオフィームに対する殺菌力の比較 (1000 µg/ml, 3分間処置した後の生菌数)



### 特長 2 フッ素がエナメル質と象牙質のう蝕の発生・進行を予防

エナメル質と象牙質のう蝕の予防にフッ素が効果的に動きます。

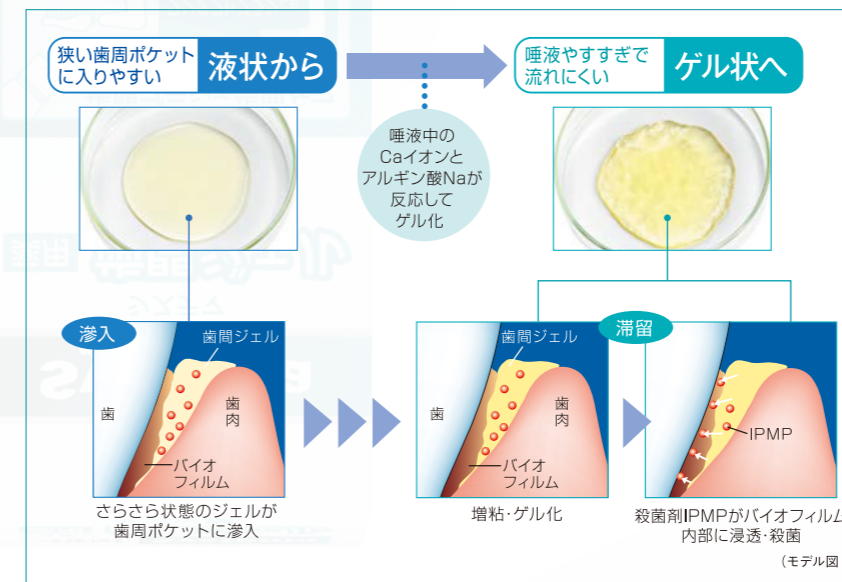
#### ◆エナメル質と象牙質のう蝕予防効果

in vitro の実験\*で、歯根面のフッ素との反応性が歯冠部エナメル質に比べて2倍高いことが明らかとなりました。このことは、歯根面のアパタイト結晶が歯冠部エナメル質より微小で、しかも未成熟であるために、フッ素イオンとの反応性が顕著に亢進した結果であるとし、歯根面う蝕に対するフッ化物の応用は、歯冠部以上の高い予防効果が得られることが十分に予測される、としています。

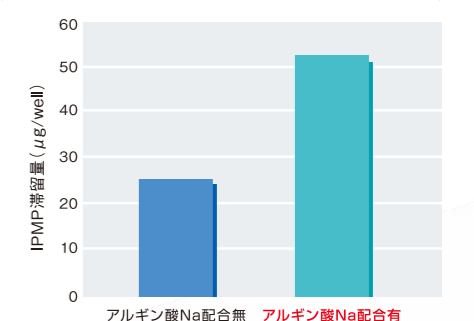
\*古賀寛、眞木吉信、松久保隆、高江洲義矩:市販フッ化物洗口剤作用後のエナメル質および歯根面へのFluoride Uptake の in vitro における検討。口腔衛生会誌52:28-35,2002.

### 特長 3 薬用成分が歯周病の発症しやすい部位に長時間とどまる

さらさら状態のジェルが狭い歯周ポケットなどに滲入し、唾液・歯肉溝滲出液と反応してゲル化。薬用成分が高リスク部位に長時間とどまって効果を発揮します。



#### ■歯間ジェルの口腔内滞留性 (口腔内モデルを使用し、水すすぎ後のIPMPの滞留性を比較)



IPMPは水ですすいだ後も口腔内ですぐれた滞留性を示しています。

### 特長 4 清涼感のあるメディカルペパーミント香味